

反社リスクゼロを目指す！ 個人・法人チェック業務 確認シート

～企業コンプライアンス強化の第一歩～



目次 Contents

01 使い方

02 チェックシート

03 最後に

04 お問い合わせ



STEP
1

現状の反社チェック体制の確認



確認シートに記載の項目ですでに完了しているものは「完了」列に をしておきましょう！

STEP
2

未完了のチェック項目について詳細を確認



該当のチェック項目の右隣にある「メモ」欄に現時点で足りていない要素や進捗状況について記載しましょう！

STEP
3

対応の優先度と対応期日を決める



各チェック項目の対応優先度と対応期日を明記しましょう！
「区分」列で分けている大分類で優先度を切り分けることも有効です。

STEP
4

チェック項目の対応抜け漏れ確認



各チェック項目の「完了」列全てに が付いていることを確認しましょう！

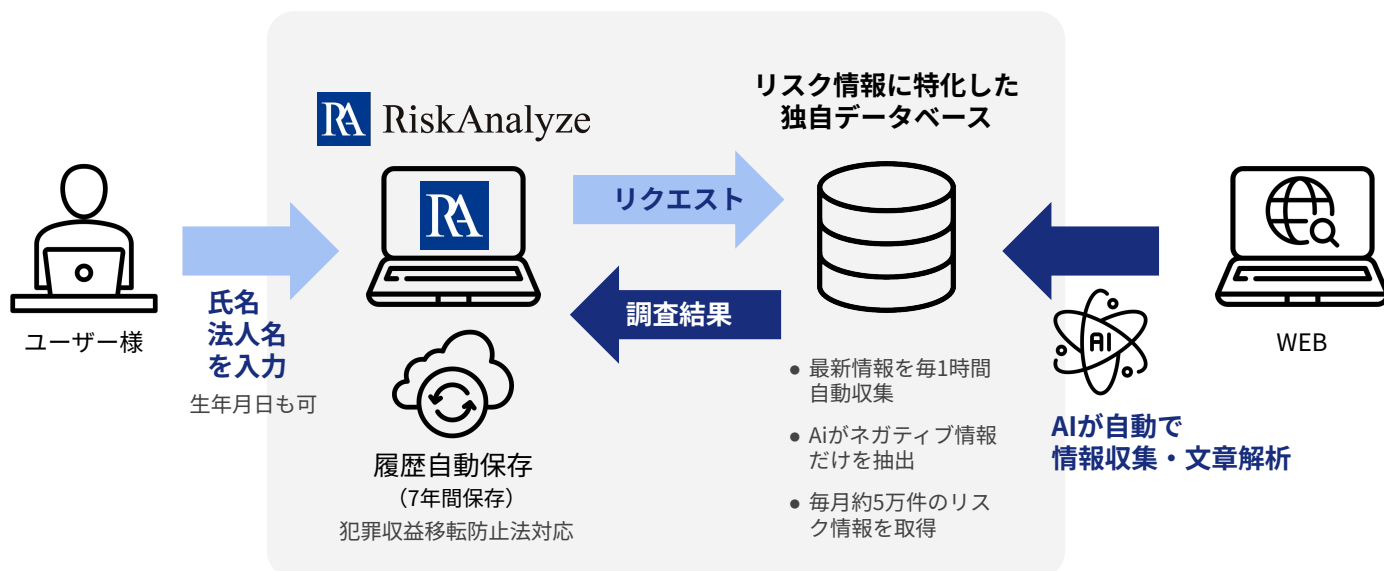


個人・法人チェック業務確認シート

No.	区分	チェック項目	メモ	対応 期日	優先度	完了
01	社内 体制	反社チェック方法が確立できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
02		新規取引時の反社チェックがルール化されている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
03		取引できないケースをエスカレーションできる体制構築ができている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
04		反社会的勢力と関わらないためのルール（規程）・マニュアルがある。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
05		定期的な研修（コンプライアンス・反社勢力と関わらないための）を行っている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
06		反社会的勢力に対する対応部署・役割が決められている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
07	法人 反社 チエ ック	取引を行わない企業の条件（属性やチェック結果）がルール化されている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
08		指名停止などの行政処分情報の取得方法が確立できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
09		海外のCFT(テロ資金供与を防ぐ対策)やAML(マネー・ローンダリング防止対策)対象もチェックできている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
10		損害賠償請求などを抱えている企業を把握し、売掛などリスクの高い取引を事前に把握できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
11		取引先役員も全員、個人名でチェックできている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
12		最低でも年に1度全件(法人名、個人名ともに)を定期的にチェックする体制が構築されている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
13		法人名だけで確認するようにしている(法人名+代表者名でアンド検索をしていない)。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
14		重要な取引の際に風評をチェックしている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
15		法人名だけで検索する際のリスクキーワードが確立できている(指導、指名停止、勧告など)。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
16		暴力団や密接交際者をチェックする体制ができている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
17	個人 反社 チエ ック	採用候補者へのコンプライアンス(反社)チェックを必ず行っている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
18		重要人材の採用の際に風評をチェックしている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
19		異体字(斎藤、齋藤、斉藤など)も全て確認できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
20		外国人を調査する際、PEPs(要人情報)やSanction(制裁リスト)を必ず確認できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
21		同一性確認(年齢や住所など)の方法が確立できている。			高・中・低	<input type="checkbox"/>
22		個人名検索用のリスクキーワードが確立できている(逮捕、暴力団、密接など)。			高・中・低	<input type="checkbox"/>

最後に：RiskAnalyzeのつよみ

RiskAnalyzeを活用することで専門的ノウハウなしに、簡易な操作でコンプライアンスチェックが実現可能です。対象者の氏名、法人名を入力するだけで1時間おきに最新の情報を自動収集し、独自のデータベースに自動で要約、分類し格納します。そのためクローリングによる検索に比べ、圧倒的な速度で簡単に精度の高い調査結果を得ることができ、業務効率化を実現します。



01 圧倒的な検索スピード

独自データベースの照会により1000件のチェックも1分で完了。

02 独自のデータベース

1時間ごとにAIが自動収集。月約5万件のリスク情報が追加されます。

03 読解不要の調査結果

AIが記事を要約し、自動で分類するため、調査結果の確認が容易です。



www.kycc.co.jp

お見積・資料のお問合せ



03-6261-0360



sales@kycc.co.jp